

学校だより

地域学習～美川の魅力伝え隊～

美川小学校

主体的な学び手となる児童の育成を図るために、今年度は、生活科・総合的な学習の時間における「地域学習」の進め方を大きく変更しました。従来までは、それぞれの学級ごとに、低学年は地区にある公共施設、中学年は美山川、高学年は警察犬訓練所を調べていましたが、この学習方法は、受け身の学習であり、児童の興味・関心を考慮しない学習の仕方でした。そこで、今年度は、学習の導入段階で、美川公民館から森下秀邦さんを招き、美川地区にある様々な施設を紹介してもらい、全学年で聞きました。その話の中から児童が興味・関心をもった場所に分かれて調べ学習を行いました。全学年で探求活動を行ったことで、グループが自然と縦割り活動となり、学年の壁を越えた協働的な学びが進みました。

「美川地区にある古墳を調べたい。」と考えた児童の中には、古墳博士に話を聞く中で、「埋葬品はあったのか」、「他にも古墳はあるのか」など、児童自身がさらに学習を深めたいところを見だし、より深く追求していく様子が見られました。

学習のまとめ段階では、児童が調べたことをプレゼンにまとめ、学習発表会で地域の方に紹介しました。地域の方の感想には、「私たちも知らないことを子ども達は知っていた。」「児童が地域に関心を持ち、さらに紹介をして広めてくれてありがたい。」との感想が寄せられました。

美川小学校では、主体的な学び手となる児童の育成を図るために、一人一人に合わせた個別最適な学習・協働的な学習をさらに進めていきたいと考えております。



学習発表会



古墳探検



公民館主事の美川紹介



美山川調べ

毎月1日はあいさつの日

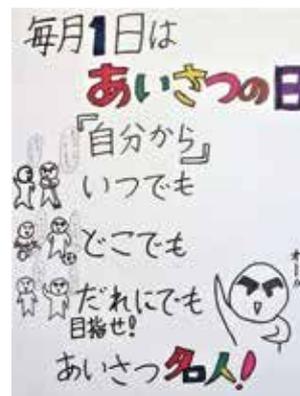
矢掛小学校

矢掛小学校では、「毎月1日はあいさつの日」という合言葉のもと、学校だけでなく地域でも元気なあいさつの声を響かせようと取り組んできました。この合言葉は、6月に行われた「スクラム21総会」という熟議の会で、学校、地域、保護者の代表者が集まって話し合ったことをもとに決まったものです。

小学校では運営委員会を中心に、校門であいさつ運動を行ったり、地域にポスターを掲示して呼びかけたりしました。地域や保護者の方々のご協力のもと、元気なあいさつをする子どもが増えました。これからも、矢掛の地域と子どもたちが、あいさつを通じて温かく繋がっていきけるといいです。



あいさつ運動



あいさつポスター

地域の方に支えていただく環境ボランティア

三谷小学校

三谷小学校では、本年度より学校環境整備をしてくださるボランティアの方をお願いしています。月に1度、第3水曜日の午前中2時間程度で校舎周りの草抜きや花壇の花の植え替え、落ち葉掃きなど、季節に合わせてその時々環境を行っていただいています。

日頃、学校の教職員や児童だけでは十分できていないことも多く、ボランティアの方の目で見え気が付かれたことを率先して行ってくださり、校門前に植えてくださったきれいな花は、登校してくる児童の心を和ませてくれます。また、校庭にある藤のつるが伸びる頃には、脚立に上って、児童の頭や顔に当たらないように安全に気を配りながら切ってください。

地域の方に見守られ、支えていただきながら、子供たちは学校で心も体も成長することができます。



環境ボランティア

山田小伝統の茶畑を生かした教育活動

山田小学校

山田小学校には、昭和初期から茶畑があり、児童や地域の方が世話をし受け継いできています。また、毎年5月の「茶摘み祭」では、法被やかすりの着物を着た子どもたちと保護者や地域の方が一緒に茶摘みをすることが伝統となっています。

とれた新茶は、学級ごとに「新茶を味わう会」をしておいしくいただいたり、児童が袋詰めして地域の方に販売したりしています。

また、5年生は、「山田の環境を守ろう」というテーマでお茶の葉や実について研究し、学習発表会で保護者や地域の方に発信しました。6年生は、「お茶大研究」というテーマでお茶の歴史について調べたり、茶器を製作したりしました。また、「伝統を受け継ぐ」をテーマに自分たちで劇の脚本を創り、学習発表会で心を込めて演じました。3学期には、茶道を学び、地域の方におもてなしをして、感謝の気持ちを伝えます。

こうして学校・地域に伝わる茶畑を地域の人々で守っていく、その要を5・6年生が担うことにより、「ふる里やかげを愛し、ふる里やかげで活躍するたくましい子ども」が育つことを願っています。



山田小伝統の茶摘み祭



6年生の劇「山田はいつも茶心伝心」

ホタルプロジェクト

川面小学校

川面小学校の校庭に「ほたる川」ができたのは平成元年。地域の方々のご協力で、ホタルの幼虫の飼育を通して自然環境について学んでいます。

現在は総合的な学習の時間で、子どもたちはホタルの卵から孵化、幼虫・成虫へと成長する過程や生態など地域の方から教えていただき、ホタルについて生き生きと学んでいます。そして学んだことをまとめ、学習発表会で保護者や地域の方へ発信しています。

平成から令和へ受け継いでいきたい大切なふるさと学習を通して、もっともっとふるさとを愛する川面っ子に育ってほしいと思います。



めざせ！中川小ブランド

中川小学校

中川小学校では、令和4年度から地域と連携し、様々な教科と結び付けて「金融・金銭教育」に取り組んでいます。今年度は、4月に『こども会議』を開き、全校で育てる野菜と各学年で育てたい野菜を話し合い、色々な作物を栽培しました。

昨年度の経験をもとに、栽培・収穫・販売までが、各学年で計画的に行われました。販売は、JA「きらり」に加えて、公民館や矢掛高校の協力も得ることができました。販売で得たお金は、『こども会議』で活用法を話し合っていて決めています。今年度は、厳しい暑さで外遊びができない日が続いたことから、「室内遊びで使える物を購入するのはどうか。」と提案があり、『こども会議』でボードゲームとトランプの購入が決定しました。体験を通してお金の大切さや物の価値について学べることができ、将来への「生きる力」につながっています。このような昨年度からの取組が認められ、「第16回キャリア教育優良学校 文部科学大臣表彰」を受賞することとなりました。これからも、子どもたちの豊かな体験を充実させていきたいと思っています。



ブロッコリー種まき



玉ねぎ収穫



さつまいも収穫



コールラビ販売



玉ねぎ販売



さつまいも販売

避難訓練

小田小学校

小田小学校では、地域と連携してさまざまな活動を行っています。今回紹介するのは、避難訓練です。

2学期に実施している避難訓練は、地元の小田消防団をお招きして実施しています。今まで、火災での避難訓練の後、消防団の出動の様子を見学し、その後、6年生の放水訓練を実施していましたが、昨年度から6年生の放水訓練に加えて、1・2年生の消防団の車や装備の見学、3～5年生の水消火器の体験を実施しています。

また、今年は保育園とも連携し、放水訓練の見学をしました。

1つの行事で地域の一体感を感じるとともに、消防団の隊員の中には、児童の保護者も多数おられるので、子ども達にとって身近な地域の大人から学べるよい機会になっています。



「商品開発」

矢掛中学校

矢掛中学校では、昨年度から「住み続けられるまちづくり（SDGs）」をテーマにした商品開発に取り組んでいます。中学校3年間で企画から商品化、販売まで一貫して取り組むことで、矢掛の魅力発信と同時に生徒の主体性を伸ばす狙いがあります。

矢掛町観光交流推進機構の方からご指導いただき、2年生が昨年度末から企画書づくりを行い、グループごとに企画を考え、今年6月にはそれぞれのグループごとの案を発表する中間発表を行いました。百貨店や広告会社、飲食店などから12名の専門家を招き、それぞれのグループにアドバイスをいただきました。

9月に実際に試作品を作り、結果を踏まえて修正・改良を行いました。10月24日には最終のプレゼンテーションを行い、実現を目指す1案を決定し、今後の商品化に向けて準備を進め完成を目指します。



公民館だより

ドローンプログラミング教室の実施

●矢掛公民館●

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化になり、プログラミング教室の注目度が増しています。矢掛公民館では今年度、小学生向けにドローンを用いたプログラミング教室を実施したところ小学生7名、大人4名が参加しました。

最初に、プログラムでドローンを動かす仕組みとビジュアル型のソフトウェア(Scratch)の使い方の説明を受けた後に、実際に飛行プログラムの作成に取り掛かりました。基本的な操作から始まり、応用編では複雑な自動飛行にも挑戦していきました。

参加者はドローンの基礎知識を含めて、プログラミングについて楽しく学ぶことができたようでした。



プログラムを作成中



プログラムでドローンの動きを確認する



ドローンを自由に動かす



より複雑なドローンの動きを考える

夏休み学習会 ～美川のわくわく夏休み～

●美川公民館●

美川公民館が実施した夏休み学習会では、子どもたちの非認知能力を伸ばすために、学校ではできない体験を提供しました。刃物の使用や火をおこす技術、川での魚の捕獲などを通して、子どもたちをたくましく成長させることを目指しました。

学習会では、盆踊りの練習や美山川での生き物の観察、絵画教室、ザリガニ釣り、ヨーヨー釣り、カキ氷、そして栄養委員さんと保護者(祖母)によるカレーライス作りなど、多彩な活動が展開されました。また、地域ミニデイサービスの高齢者との交流や、自分たちで流し台を作ったそうめん流しなど、地域との結びつきを深める企画も実施されました。

運営面からは、高齢化で公民館の専門部員の選出が難しい中、新たに保護者をボランティアとして巻き込む取り組みが成功しています。これにより、ボランティア参加の中高生も含めた子どもたちは学校以外の地域の人たちとの交流が増えました。

また、地域で楽しい経験をすることで、成長した後も故郷を愛する人々が増えることが期待されます。



冬休み学習会（12/25～12/28）

●三谷公民館●

三谷公民館では、小学生を対象に例年行っている冬休み学習会の今年度の目標を「より目新しく」「より多くの参加を」と決めました。そこで、地元の「音楽ユニットのんみゆ」さんにサックス&キーボード演奏をお願いし12月25日の学習後にクリスマス会を開催しました。最終日の学習後には児童のお母さんとおばあちゃんにクリームシチューとおにぎりを作っていただきました。



矢掛高校書道部に来ていただく書道教室（12/27）も今回で3年目となり参加者が段々と増えてきました。学習会への参加者も増し、目標は達成できたように思います。



令和5年の演芸大会について

●山田公民館●

久しぶりに演芸大会を開催することができて、皆で楽しむことができました。開催に当たってインフルエンザの影響もあったのですが小学校をはじめ皆様に多くの協力を頂いて、プログラムの少なくなった部分を十分カバーできた大会になりました。

山田の皆様がいつもと違う一面を舞台の上で見せて、感動、笑いまた驚きなど新しい山田を感じた所です。また、高校野球で素晴らしい活躍をした西野彰人君も出演して笑いを取っていました。とても残念だったのが、インフルエンザの影響で小学校のシング・シング・シングをお聴きいただけなかったことです。小学校の学習発表会で聞いた時には、とても素晴らしい演奏で感動を覚えました。子どもからお年寄りまで楽しい1日を過ごすことができました。



キットパス号がやって来た！

●川面公民館●

川面公民館に一年に一度現れるラクガキの街「かわもラクガキ一丁目」の特別編として、ラクガキできる車「キットパス号」が遠路はるばるやってきてくれました。

キットパスは、窓ガラスなどに描いて消せるクレヨンに似た画材です。ドラマ「虹色のチョーク 知的障がい者と歩んだ町工場のキセキ」が記憶に新しい方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

水にとけやすい特徴を生かして、カラフルな手形をとったり、手持ち風船に絵を描いたりもしました。キットパス号には、川面地区内外から来てくださったみなさんと、就労継続支援B型「ほほえみ矢掛」のみなさんも加わって、子どもから大人まで思いっきりラクガキをして楽しみました。



6年振りの開催「第47回中川地区盆踊り大会」 ●中川公民館●

2018年から西日本豪雨、台風、コロナウイルスのまん延で「盆踊り大会」は中止を余儀なくされてきましたがコロナが第5類に移行され6年ぶりの開催となりました。

5月から準備をはじめ、お囃子の人、こども太鼓の人、踊り連の人などみなさん暑い中5年間の空白を埋めるかのように公民館に集まり盆踊りを盛り上げようと練習に励みました。



当日は、台風7号を気かけながらの実施でしたがお囃子の方の歌声と大正琴、三味線の伴奏、こども達の太鼓の拍子にあわせ、小さなこどもから年配の方まで、うちわを手に笑顔で二重、三重の輪となり踊りました。地元有志の方がくじ引き・かき氷・ボールすくいなどの夜店を出店してくださり、こどもから大人まで多くの人の笑顔あふれる盆踊り大会となりました。

夏休み&冬休みいろいろ体験教室

●小田公民館●

今年度の土曜日学習支援事業は、子どもたちにいろいろな体験をしてもらおうと夏休みと冬休みを利用して様々なイベントを計画しました。学習会の3時間目に毎日『お楽しみイベント』を行い、また学校の授業では学べない体験教室も実施し、多くの児童が参加しました。



公衆電話の使い方



ウン知育教室



茶道体験



科学のふしぎ



廃食油石鹸作り



理想の朝ごはんを考えよう

学 校 教 育 こ の 一 年

ICTを活用した新しい学びに向けて



文部科学省が示した「令和の日本型学校教育」に向けて、矢掛町でも全ての子どもの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指しています。その基盤となるのがICTの活用です。

令和5年度中に、町内の全小中学校が学校情報化優良校に認定されました。日常的に一人一台端末を活用した学習に取り組み、家庭学習においても活用が進んでいます。今年度、三谷小学校と山田小学校では、中国の小学校とオンラインで交流しました。町内の他の学校との合同授業や、他の市町村との交流でもICTを活用しました。

また、今年度から「デジタル・シティズンシップ教育」を推進していくために、小・中学校の教員が研修を深めました。「禁止」よりも「活用」を主眼に置き、善きデジタル市民の育成を目指しています。



文化財この一年

○伝統的建造物群保存地区防災計画を作成しました。

矢掛宿伝統的建造物群保存地区は木造建築が密集しており、災害時には被害が広がりやすいことが懸念されます。人命や財産を守ることが優先されますが、文化財としての価値を守っていく取組も必要です。保存地区を中心とした自治会の皆さんと意見交換をし、計画を作成しました。



伝建防災計画意見交換会

○毎戸遺跡発掘調査を行いました。

昨年度の発掘調査で木製の建築部材が出土し、中四国初の発見ということで話題となった毎戸遺跡(浅海)を今年度も引続き調査しました。

2カ所の調査区のうち1カ所からは駅館の東端と思われる築地の跡が、もう一カ所からはおびただしい古代の瓦とともに建物の礎石が発見されました。建物の礎石は大型建築物の基礎として使われるもので、まさに礎石が出土した位置に建築物があったという証拠です。建物の位置が分かったので、今後はこの建物の規模を探っていくとともに、瓦だまりの意味も合わせて検証することが必要です。



毎戸遺跡発掘風景

健康スポーツこの一年

明治安田生命と矢掛町包括連携プロジェクト サッカー教室

9月17日(日)矢掛町総合運動公園多目的グラウンドにて、明治安田生命『社会貢献活動』の一環として、サッカー教室を開催しました。講師として、ファジアーノ岡山スクールコーチ3名をお迎えし、町内の小学生を対象に、基礎技術指導やミニゲームで対戦などを行いました。実際コーチの中には、日本代表に選出されたコーチもおられ、直接指導並びに一緒にサッカーができ、子どもたちをはじめ、保護者、指導者も笑顔溢れる教室となりました。



矢掛ライオンズクラブ杯第7回矢掛町民カローリング大会並びに第3回矢掛町民ニュースポーツ大会

9月20日(水)矢掛町B&G海洋センターアリーナを会場に、カローリング大会を開催しました。矢掛ライオンズクラブにご協賛いただき、大会には、各地区サロンや有志チーム、障害者福祉団体など、総勢28チーム・84名が参加し、町民の健康増進、並びに参加者相互の親睦・交流を図りました。

11月26日(日)矢掛町B&G海洋センターアリーナを会場に、ニュースポーツ大会(ラダーゲッター)を開催しました。大会には、スポーツ少年団員・指導者・保護者や各地区サロンなど、子どもから高齢者まで総勢44チーム・144名が参加し、3世代の交流が図られました。



第36回矢掛本陣マラソン大会

2月18日(日)、矢掛町役場庁舎をメイン会場に矢掛本陣マラソン大会を開催しました。

今大会は、町民対象大会として行い、参加者は6歳から77歳まで幅広い世代のランナー 526名が参加し、矢掛商店街の街並みを疾走しました。

大会を通して、町民の健康増進を図り、日々変化する街並みを眺めながら、参加者は楽しく走っていました。

やかげ郷土美術館 この一年

特別展 「かいけつゾロリ大冒険展」 【会期6/3～7/9】

児童文学作家の原ゆたか氏による人気児童書「かいけつゾロリ」の原画作品約110点と作中に登場するゾロリが手に入れた「お宝」の立体物を展示しました。また、原ゆたか氏のアトリエを再現したコーナーや美術館から町並みをめぐる「かいけつゾロリのおやじギャグスタンプラリー」も開催し、多くの家族連れらが展覧会をたのしみました。



会期中、子どもワークショップ「光るうちわにかいけつゾロリの絵をかこう！」(6/18)、「タンブラーにかいけつゾロリの絵をかこう！」(7/1)を開催しました。町内外の小学生40名が参加し、カラーペンやいろえんぴつなどで大好きなゾロリの絵を描いて、オリジナル作品を制作しました。

企画展

「わたしの愛蔵品展～わたしのお宝大公開～」【会期9/23～10/1】

町民のみなさんが愛蔵している「お宝」を興味深いエピソードとともに一堂に展示しました。趣味で制作しているフィギュアや完全ハンドメイドのギター、高校野球、プロ野球グッズなど自慢のお宝も並び、多くの方が鑑賞されました。



対話型鑑賞会 「やかげっ子おしゃべり美術館」

美術館・小学校連携事業 対話型鑑賞会「やかげっ子おしゃべり美術館」を開催しました。本年度から開催したこの事業では、町内各小学校の4年生を美術館に招き、ナビゲーター（みるを楽しむ！アートナビ岡山）とともに作品を囲みながら、思ったこと、感じたことや発見したことを自由に発言しました。これを機にふるさと矢掛の美術に誇りと関心を持ってもらえたらと思います。



文化センターこの一年

矢掛町立図書館行事 2023



やかげ観光大使
やかっぴ〜



おはなしらんど



市えほんひろば

4年ぶりに開催した図書館フェスティバルにたくさんの方が参加してくださいました！！



マミコさんイラスト展



えいごであそぼう



おまつりひろば(的あて)



ねこねこ日本史 上映会



本陣メダカの展示

↓ 2023年も定例行事をはじめ、様々なイベントを開催しました ↓



夏の夜のこわい
お話し(児童向け)



読み聞かせボランティアを
やってみよう(中高生向け)



知的書評合戦 ビブリオバトル
(中学生以上)



X'masリース
作り(大人向け)